

自立した生活・ 楽しい生活へ繋げた介護



武田 彩佳

実習先

介護老人保健施設 山鹿リハビリセンター



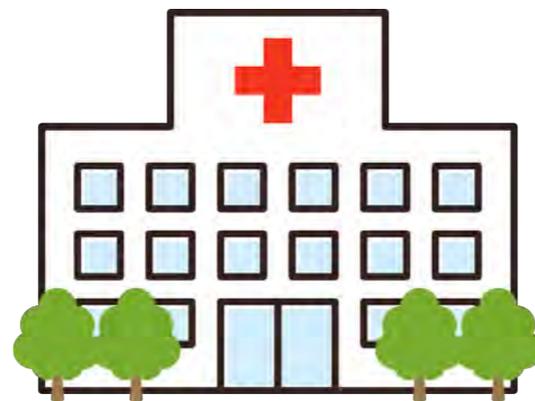
実習先

介護老人保健施設 山鹿リハビリセンター

介護老人保健施設とは…？

在宅への復帰を目標にする病院と自宅の
中間施設。

食事・入浴サービスに加えて、在宅復帰
に向けたリハビリテーションが充実して
いる



中間施設



介護福祉士

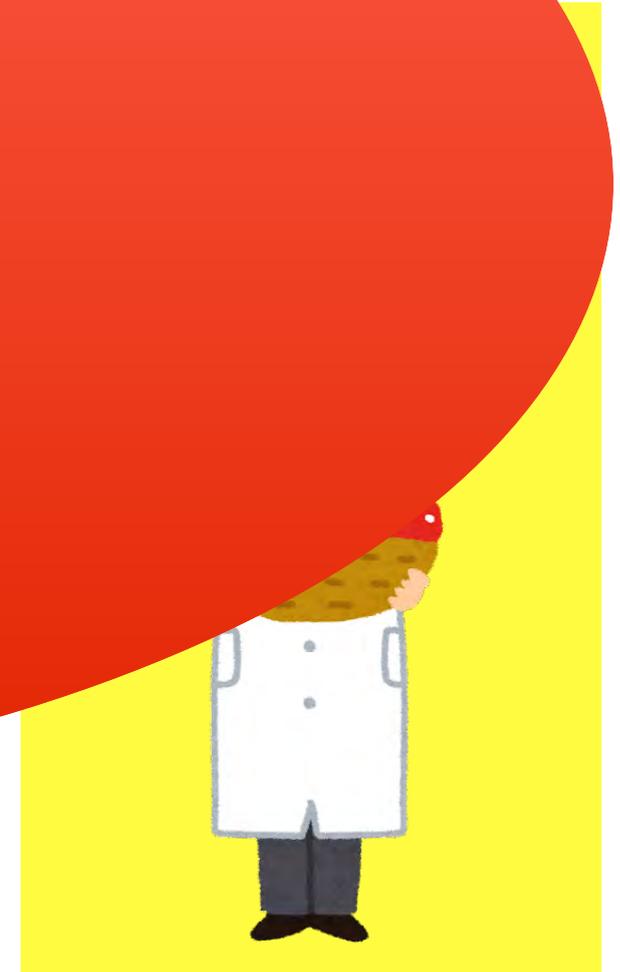
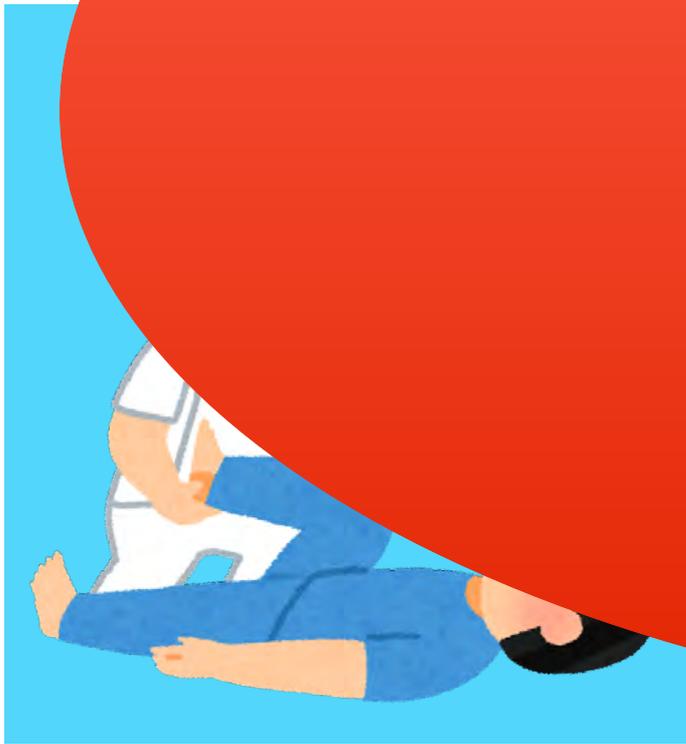


医師・看護師



介護老人保健施設

チームケア



健康状態

- ・ 右多発性肋骨骨折
- ・ 神経因性膀胱
- ・ 網脈絡膜萎縮
- ・ 内耳難聴
- ・ 高血圧症

心身機能・身体構造

- ・ 身長…138.8cm
- ・ 体重…50.3kg
- ・ 両下肢の筋力低下
- ・ 上肢の筋力低下なし
- ・ 認知症はないが年相応の物忘れあり
- ・ 介護者が大きい声で話すとスムーズに会話ができる

活動

- ・ 食事：自立している
- ・ 移動：車椅子での自走は自立
- ・ 立位：ふらつきがある
- ・ 座位：自立
- ・ 排泄：一部介助
- ・ 入浴：一部介助
- ・ 意思疎通可能

参加

- ・ 他の利用者様とコミュニケーション取られている姿も見られる
- ・ 自分から進んでレクに参加されない
- ・ 日中は「暇だから」と言って塗り絵をしている
- ・ 趣味や好きなことがない

環境因子

- ・ 車椅子使用
- ・ 月1回に長男か三女が面会
- ・ 在宅改修は行われていない

個人因子

- ・ 88歳
- ・ 女性
- ・ 要介護4
- ・ 障害高齢者の日常生活自立度B1
- ・ 明るくて、穏やかな性格
- ・ 中学卒業後は家の農家の手伝い
- ・ 赤色、紫色が好き

生活課題

生活する上で困っていること、できるようになりたいこと

長期目標

6ヶ月以内に達成できそうな内容にする

短期目標

数週間～数ヶ月の間に達成できる内容にする

H様の願い

早く家に帰りたい

②趣味や好きなことが
ない



施設でのQOLの低下
在宅復帰した時のQOLの
低下にもつながる

88歳
女性
要介護4

①両下肢の筋力低下



- ・立位の際にふらつき
- ・膝がしっかり伸びてお
らず安定していない

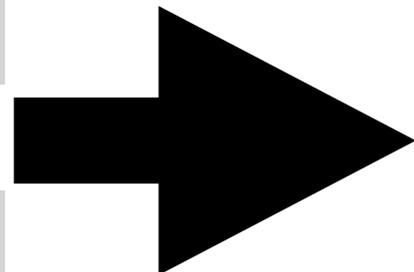
ご家族の願い

安定して排泄ができるようにな
ったら在宅での生活でもいい

生活課題

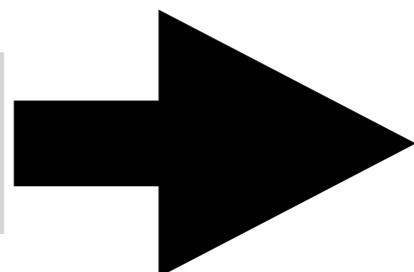
自立

安全



在宅復帰のために自立した排泄動作が可能になる必要がある

快適



施設生活で積極的に取り組めることや在宅復帰した際にも続けられるような趣味や好きなことを見つける

なぜ排泄に注目したのか…？

排泄時や入浴時の立ち上がり
や着脱が不安定

H様の願いである「在宅復帰」
はご家族の願いである安定した
排泄が可能になる必要がある

排泄はADLの1つであり、
生活の場面では大きな存在

食事や入浴のように回数や行う
時間帯が決まっていないため、
自立した排泄ができると在宅復
帰した時の家族の負担も減る

長期目標・短期目標

『在宅復帰』

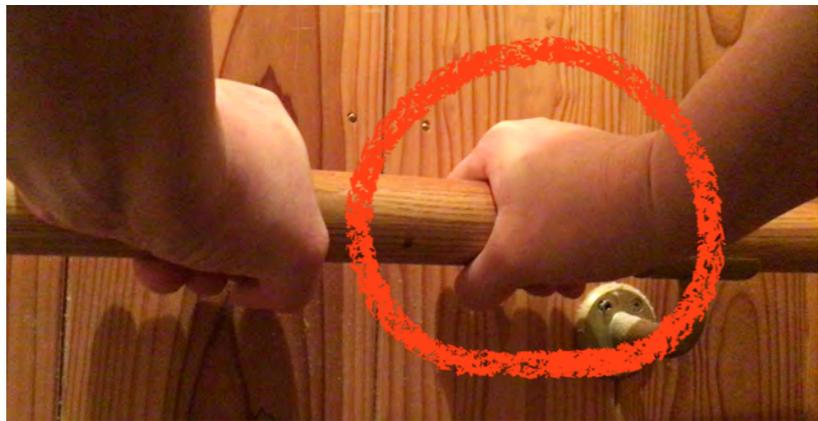
- 排泄時の安定した立ち上がりの動作・立位の保持ができる
- 排泄時のズボンの上げ下げの動作をスムーズに行うために
手指の動きの維持
- 施設生活での楽しみを見つけ、毎日を楽しく過ごす

支援内容①

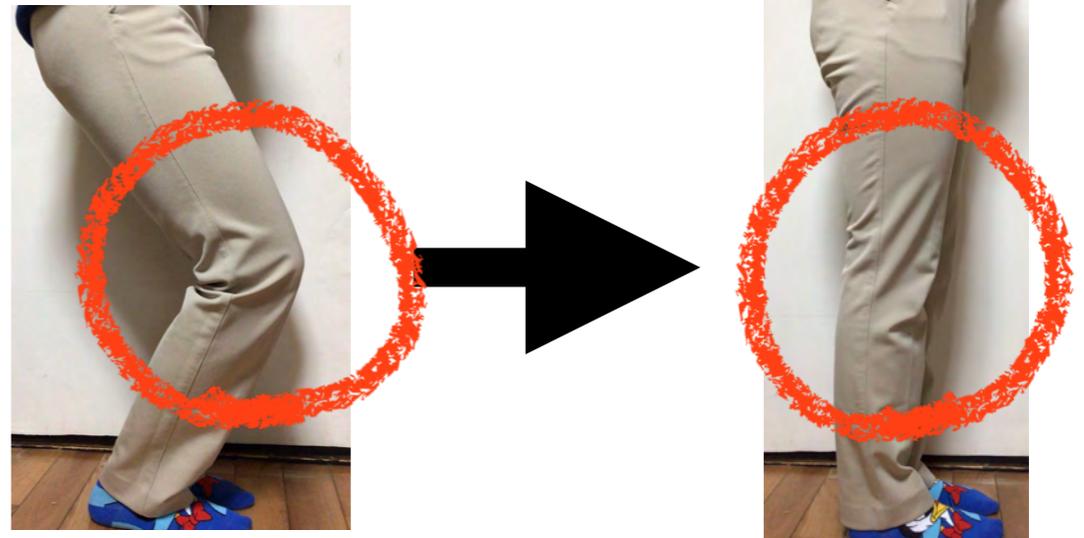
- ・排泄時の安定した立ち上がりの動作・立位の保持ができる



- ・排泄時にトイレの手すりをしっかり握ってもらう



- ・膝をしっかり伸ばしましょうと声かけを行う



【評価項目】

- ・両手に力を入れ、手すりを握ることができているか
- ・自分で意識して膝を伸ばすことができているか
- ・立位が安定して取れているか

支援内容②

- ・排泄時のズボンの上げ下げの動作をスムーズに行うために
手指の動きを良くする
- ・施設生活での楽しみを見つけ、毎日を楽しく過ごす

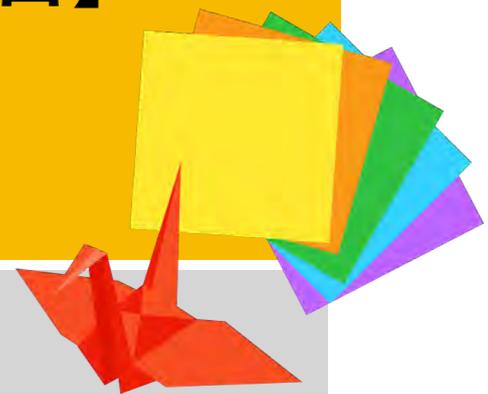


手指を使うレクリエーションを行う

- ・トランプ（ババ抜き・神経衰弱）【1日目・4日目】
- ・オセロ 【2日目・5日目】
- ・折り紙 【3日目】

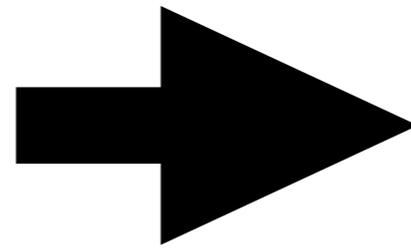
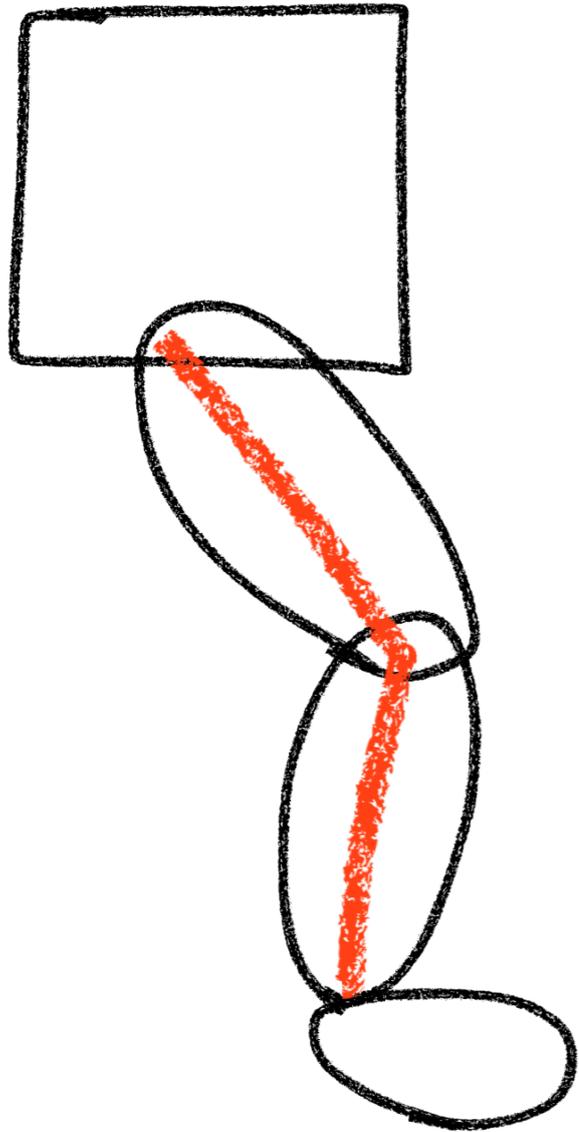
【評価項目】

- ・手指をしっかりと使えていたか
- ・手指の巧緻動作ができていたか
- ・レクリエーション中、笑顔が見られたか

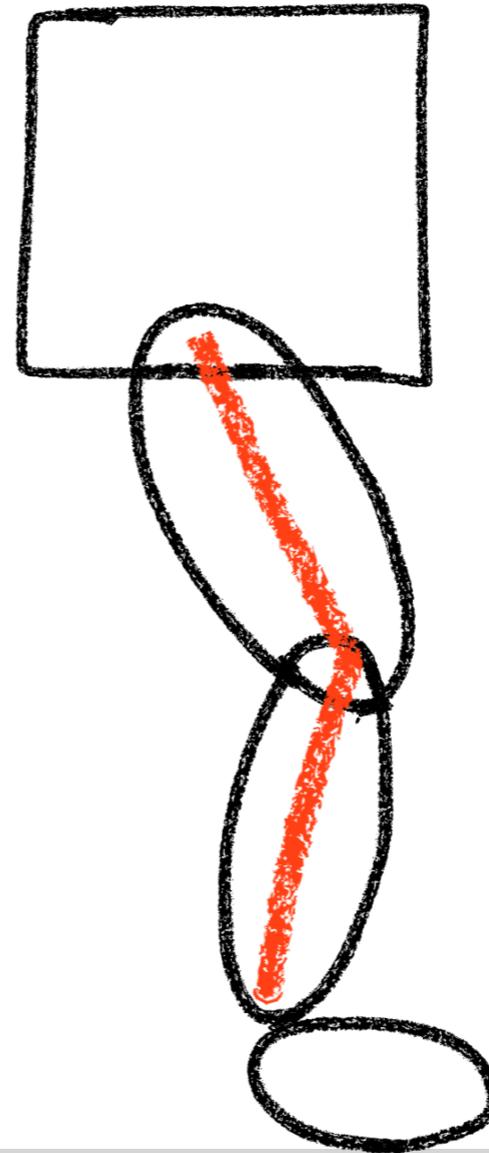


5日間実施した結果①

1日目



5日目



- 足がしっかり伸びきっていない
- 立位が安定していない
- 立つことに精一杯

- 1日目より足が伸びた
- 1日目より立位が安定した
- 意識できるようになった

5日間実施した結果②

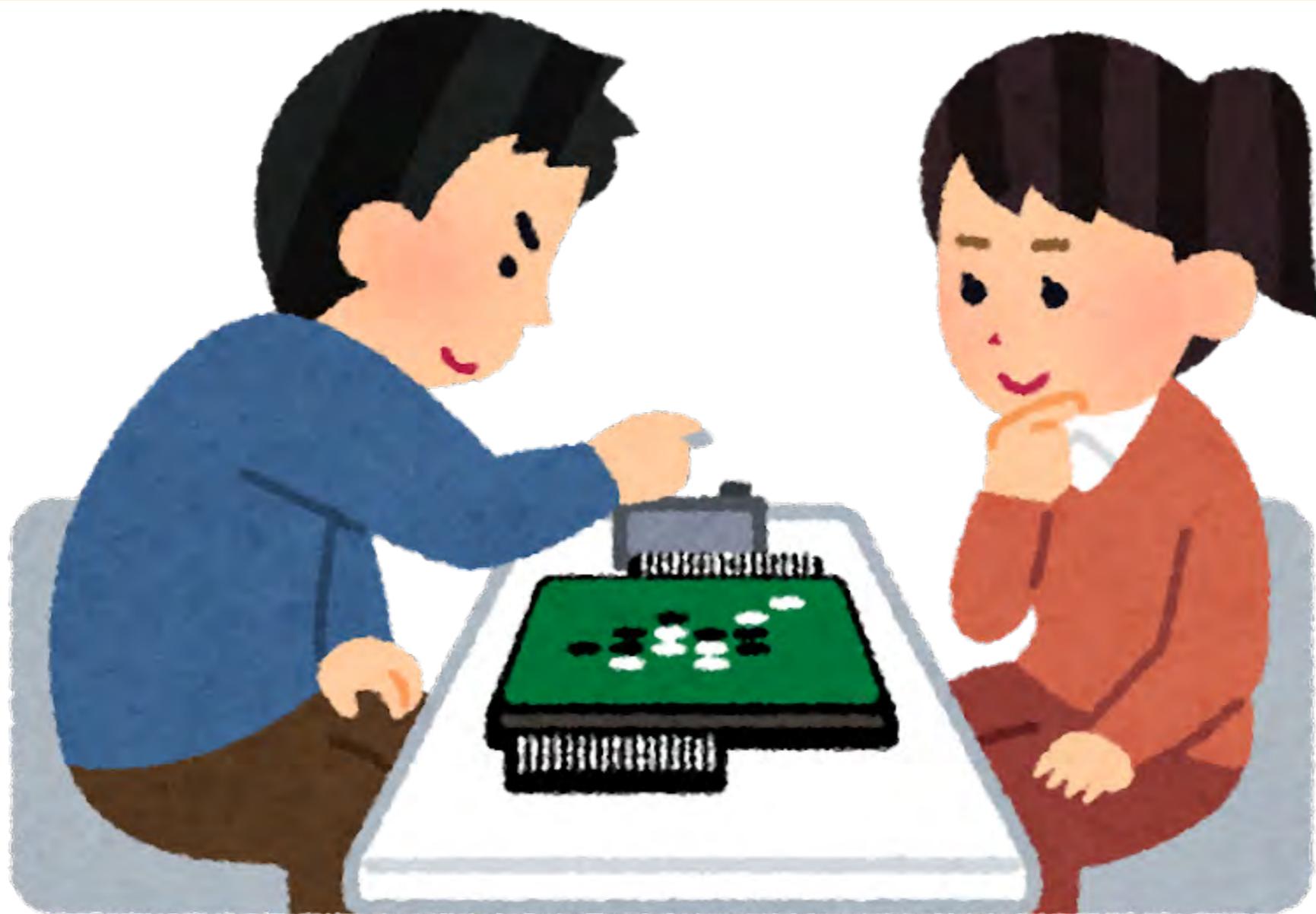
【1日目・4日目】…トランプ（ババ抜き・神経衰弱）



- 笑顔が見られた
- ババ抜きでは同じカードを器用に指先を使ってテーブルの上に出されていた
- トランプ終了後、「またしたい」と言われた

5日間実施した結果②

【2日目・5日目】…オセロ



- 笑顔が見られた
- 2日間ともマスからはみ出して駒をおくことがあった
- ルールのわからない利用者様に対して自分から教える場面があった
- 指先を使って駒をひっくり返せていた

5日間実施した結果②

【3日目】…折り紙で作品作り（チューリップ・蝶々）

すべてH.H様に
色や組み合わせ
を選んでいただ
いた



- 角と角を合わせようと一生懸命指先を使っておられた
- 折り紙終了後「もっと難しいのにしよう」と言われた
- 一緒に折り紙をした利用者様に積極的に折り方を教えていた

2ヶ月後の利用者様の様子

- 立位の時のふらつきは目立たなくなってきた
- 排泄の時の動作が増えていた

在宅復帰の実現

今の自立動作が

利用者様の今後の課題

- ・ さらに安定した日常生活の実現

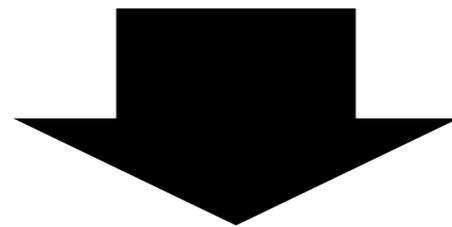
通所リハビリテーションなどを利用してリハビリを行う

- ・ 在宅復帰後は家の近くのデイサービスを利用される
とのことで新しい人間関係の構築

まずは一緒に住む家族や近所の方とコミュニケーションを
とり、生活意欲等を高める

4週間実習を振り返って

- ・ H.H様の生活歴に合わせた支援内容を考えることができた
- ・ H.H様の意思の確認不足で自分自身の実習内容に合わせた時間で支援を行ってしまった



利用者様の尊厳を守る介護





尊厳

個別ケア

信頼関係

これらを大切にした介護をする必要がある

私たちの人生の先輩である利用者様に**尊敬**の気持ちを持ち、
その利用者様にできること、その利用者様とできることを見つけて、

利用者様が自分のこれからの**諦める**のではなく、

希望と**目標**を持っていただけるような介護を提供していく義務がある

ご清聴ありがとうございました

